



「楽しい!!」「おもしろい!!」「うれしい!!」気持ちがあふれる学校

境剛志小だより

学力・学習状況
調査 特別号
令和4年10月3日

「令和4年度 全国学力・学習状況調査」の結果概要と今後の取組について

4月19日(火)、6年生児童を対象に実施された、「全国学力・学習状況調査」の結果の概要をお伝えします。本校では、調査結果から「成果」「課題」等の傾向をとらえ、具体的な授業改善に取り組んで参ります。つきましては、保護者の皆様には、これまでと同様、家庭での学習・生活習慣の確立に向け、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は学力の特定の一部を測るものであり、すべてを反映しているものではないことをご理解ください。

1. 学力・学習状況調査

(1) 学力調査結果

全国平均と比べて国語では、ほぼ同じ程度の正答率であった。算数においては、高い正答率であった。理科においては、やや低い正答率であった。

	成果と課題 (成果…「◎」「課題」…「◇」)
国語	◎登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができる児童が多い。 ◎話し言葉と書き言葉との違いが理解できる児童が多い。 ◎必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分の聞きたいことの中心を捉えることができる児童が多い。 ◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題がある。 ◇学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことに課題がある。
算数	◎百分率で表された割合を分数で表したり、割合と基準値から比較量を求めたりできる児童が多い。 ◎目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる児童が多い。 ◎図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している児童が多い。 ◇示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することに課題がある。 ◇分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え観察することに課題がある。
理科	◎問題に対するまとめを導き出すことできるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録できる児童が多い。 ◎観察などで得た結果を、結果から言えることの視点で分析して、解釈し、自分の意見を持つことができる児童が多い。 ◇一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名前や、正しい扱い方を身に付けることに課題がある。 ◇提示された情報を複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つことに課題がある。 ◇予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことに課題がある。

(2) 児童質問紙による生活調査結果

- ① 計画的な家庭学習…「自律する力」を育て、高める
*本校児童は家庭において自分で計画を立てて学習時間を確保しており、全国の割合より高い。
- ② キャリア形成…「なりたい自分」を目指す心を育て、自分の成長を実感させる
*将来の夢や目標を持っている児童の割合や、自分で決めた事はやり遂げるようにしようとしている児童の割合が全国より高い。
- ③ ICT機器の学習への利用
*1日あたり1時間以上ICT機器を勉強のために使っている割合が、本校児童は全国よりやや低い。
- ④ 友達との協力…人間関係形成力を育てる
*友達と協力するのは楽しいと考えている児童の割合が、本校児童は全国よりやや高い。

2. 学力・学習状況調査の「課題」を解決するための方策

(1) 全体を通して

基礎的・基本的な内容の確実な定着と、思考力、表現力の育成を目指します。

- ① 授業研究を中核とした校内研修の推進により、教職員の実践的な授業力の向上を図ります。
- ② 境剛志小スタイルの授業づくりの実践に努め、より質の高い学びにより、「疑問から気付き、わかる喜び」が実感でき、主体的に学ぶ意欲を引き出す授業を実践します。
- ③ 教科担任制により、教師の専門性を生かした個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- ④ タブレット活用を推進し、児童が思考・表現することのできる授業を実践するとともに、情報スキル・モラルの向上を図ります。

(2) 国語

① 自分の考えを発表する活動の工夫

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べて、考えをまとめる場を設定します。
- ・実際に話す場面においては、聞き手のうなずきや表情に注目して、自分の話したことが伝わっているかを確認しながら、修正したり説明を足したりして調整して話せるように指導します。

② 書くことの指導の充実

- ・文章全体を考えながら、内容や表現の一貫性、目的に合致した構成や記述、事実と感想の区分などを意識して読みやすい文章を簡潔に書く活動を行います。
- ・接続語を用いて二文以上で書き表すなど、文法事項を踏まえ、効果的に書き表す指導を行います。

③ 語彙を豊かにする指導の工夫

- ・感想や振り返りを書く場面や日記を書く場面などで、漢字を使おうとする習慣を身に付けられるように支援していくとともに、学級や家庭で繰り返し練習することで、正しく漢字を読み書きできるように指導します。

(3) 算数

① 基礎的な力をつける時間の確保

- ・基礎となる内容の定着のために、テストやプリントなどで間違えた問題は必ずやり直しさせたり、放課後学習の時間に補充プリントに取り組みさせます。

② 「できる喜び」「分かる楽しさ」を目指した授業展開の工夫

- ・発表の場面では、「～だから、～です。」の形式で答えさせるようにし、根拠を持って課題を説明できる力を伸ばしていけるようにします。
- ・授業終末におけるふりかえりの時間を大切にし、児童の理解度を測る評価問題などを適切に取り入れます。

(4) 理科

① 問題解決までの道筋を考え、解決方法を決定する場面の設定

- ・自分の予想や仮説だけでなく、他者の予想や仮説についても参考にして、解決していく手順を考えるよう指導します。

② 観察、実験などで得た結果を分析して、解釈し、より妥当な考えをつくりだす活動の充実を図ります。

- ・観察、実験で得た結果を分析して、解釈し、結果と既習の内容や生活経験を関連付けながら結論を記述させる活動の充実を図ります。